

4-1

きって
ひらいて
スキル
花たん

黒い紙を半分に折り、
思いつくままにデザ
インカッターで切り
ました。開いてラミ
ネートし、ペンで色
をぬると、花のよう
に美しい作品に仕上
がりました。





■寒色の色を使って氷のイメージを出しました。工夫したところは花の形です。



■あえて花びらを白にしたところ



■まん中にダイヤがあるように見えたから、題名にダイヤをいれました。



■いろいろな色を使ってきれいに作れるように意図しました。



■開いたとき、どうなるか分からないような色々な形を切りました。



■1枚1枚、ていねいにカッターで切りました。



■動物もみんなであそぶ!特別な花だんへ。



■いろんな色を使って、美しく仕上げました。



■鳥など色々な生き物に合うようにがんばりました。



■とにかくカラフルにして、だん色と寒色をうまく使いました。



■きれいに見えるように外がわは、もようが小さくて、中は大きいようにしました。



■炎のようにするために葉や花を暖色にして、がくの部分だけ寒色にして目立たせました。中心はとくに太陽のようにしました。



■花だんに雪結晶を取り入れて寒色とだん色をまぜあわせました。



■色をきれいにぬったり、想ぞうしたりしながら切れました。



■もようをたくさん切つたことをがんばりました。



■日にあたる時に光る、ステンドグラスをイメージしました。



■ひまわりの香りにちょうちょうが集まっているからです。



■暖色は「あたたかくて、やさしい心」で、寒色は「つめたくて、悲しい心」というふうに、心をイメージして、この作品を作りました。



■カラフルな花をイメージして作りました。



■トカゲを切るのを、工夫しました。



■同じようなところに色をぬったらきれいになりました。



■外側は寒色でぬりました。色々な形を使いました。



■ダイヤをいれてかがやいているイメージをだしました。



■中は、さむい色にして、外は、あたたかい色にしました。



■花のみつのにおいにつられてくる虫など元気にさく花をさいげん。



■題名どおりパツと思いついた変な形を切りました。



■ひかるたまごのようになりました。



■花の色を寒色からだん色にして工夫しました。



■切っていたら、王かんみたいになりました。

4年生のお・も・て・な・し

2

渡り廊下の海の絵は「潜水艦から見た世界」という設定です。運転装置は潜水艦の運転装置です。レバーやメーターの針が動くようになっています。

